

7 器楽専攻(チェンバロ・オルガン)

ディプロマポリシー

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身につけていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域にとどまらない教養を身につけ、演奏家、教育者をはじめ、さまざまな音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身につけていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習したことがらを総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

種別	科目名	ディプロマポリシー						単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	最低修得単位数	
		A	B	C	D	E	F							
必修科目	専攻科目 チェンバロ実技Ⅰ } オルガン実技Ⅰ } チェンバロ実技Ⅱ } オルガン実技Ⅱ } チェンバロ実技Ⅲ } オルガン実技Ⅲ } チェンバロ実技Ⅳ } オルガン実技Ⅳ } 卒業演奏 通奏低音奏法Ⅰ 通奏低音奏法Ⅱ 通奏低音奏法Ⅲ 古楽概論 古楽合奏1 古楽合奏2	専攻する実技を修得すること	○						8	8				66
			○						8		8			
			○						8			8		
			○						8				8	
			○					○	4				4	
			○						2	2				
			○						2		2			
			○						2			2		
			○						2	4				
			○	○					2		2			
			○		○				2			2		
			○		○				2	2				
			○		○				2	2	2			
			○		○				4	4				
		○		○				4		4				
		教養科目(2-1参照)			○		(○)1科目のみ	12			12		12	
		外国語科目(2-2参照)				○		12			12		12	

7 器楽専攻(チェンバロ・オルガン)

ディプロマポリシー

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身につけていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域にとどまらない教養を身につけ、演奏家、教育者をはじめ、さまざまな音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身につけていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習したことがらを総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

種別	科目名	ディプロマポリシー						単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	最低修得単位数
		A	B	C	D	E	F						
選択科目	古楽合奏3			○				2				2	(次ページの 選択科目を含 め) 34
	古楽研究A		○					2			2		
	古楽研究B		○					2			2		
	古楽研究C		○					2			2		
	ピアノ初見法Ⅰ	○						2	2				
	ピアノ初見法Ⅱ	○						2		2			
	ピアノ指導法			○				2			2		
	ピアノ指導法特講(1)			○				2	2				
	ピアノ指導法特講(2)			○				2		2			
	ピアノ指導法特講(3)			○				2			2		
	ピアノ指導法特講(4)			○				2				2	
	作品解釈(1)	○						2	2				
	作品解釈(2)	○						2		2			
	作品解釈(3)	○						2			2		
	作品解釈(4)	○						2				2	
	リサイタル試験	○					○	8				8	
	声楽(副科)Ⅰ			○				2			2		
	声楽(副科)Ⅱ			○				2			2		
	※ ピアノ(副科)Ⅰ			○				2			2		
	※ ピアノ(副科)Ⅱ			○				2			2		
	ソルフェージュⅢ-1	○	○					1			1		
	ソルフェージュⅢ-2	○	○					1			1		
	ソルフェージュⅢ-3	○	○					1				1	
	ソルフェージュⅢ-4	○	○					1				1	
	和声Ⅲ		○					2				2	
	和声Ⅳ		○					2				2	
	和声分析Ⅰ		○					2				2	
	和声分析Ⅱ		○					2				2	
対位法概論		○					2				2		
歌曲史		○					4				4		
オペラ史		○					4				4		
ピアノ音楽史		○					4				4		
管弦楽曲史		○					4				4		

7 器楽専攻(チェンバロ・オルガン)

ディプロマポリシー

- A. 様式に則した演奏能力や創作能力を身につけていること。
- B. 音楽の理論や歴史、体系を理解していること。
- C. 専門領域にとどまらない教養を身につけ、演奏家、教育者をはじめ、さまざまな音楽分野で活躍できる力を持っていること。
- D. 複数の外国語の基本を身につけていること。
- E. 社会における音楽の役割について考察し、活動できること。
- F. 上記の学習したことがらを総合して、専攻した音楽の分野を的確に表現できること。

	種別	科目名	ディプロマポリシー						単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	最低修得単位数
			A	B	C	D	E	F						
選択科目	音楽学課程	西洋音楽史演習A		○					4				4	(前ページの選択科目を含め) 34
		西洋音楽史演習B		○					4				4	
		日本音楽史演習		○					4				4	
		世界音楽演習		○					4				4	
		音楽文献研究(英語)		○	○	○			4				4	
		音楽文献研究(独語)		○	○	○			4				4	
		音楽文献研究(仏語)		○	○	○			4				4	
		論文作成		○					4				4	
	※ 情報メディア				○				2		2			
	スペイン語					○			4		4			
	ロシア語					○			4		4			
	中国語					○			4		4			
	ラテン語					○			4			4		
	上智大学単位互換科目				○				1~			1~		
	必修単位を超過して修得した教養科目				○		(○)1科目のみ							
必修単位を超過して修得した外国語科目					○									
												計	124	

※印は教育職員免許状取得に必要な科目を示す。※①※②はどちらかでよい。